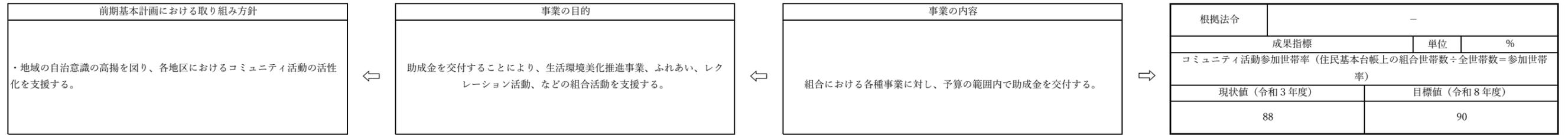


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野			地域経営			政策		人と人がつながり、町の可能性を広げる		施策	③行政区・コミュニティ運営活動の支援			
実施年度	令和	5	年度	予算科目	会計			継続	事業名	コミュニティ助成事業	担当課		総務課						
					1	2	1				1	担当者	城戸 智美						

1. 事業概要



2. 実施内容（実績）

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
Plan (計画)	組合のコミュニティ活動に対して助成金を交付する。			組合のコミュニティ活動に対して助成金を交付する。			組合のコミュニティ活動に対して助成金を交付する。									
Do (実行)	コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各種行事が中止となったが、生活環境美化推進事業など地道な活動は継続されており、活動助成金を交付した。			コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各種行事が中止となったが、生活環境美化推進事業など地道な活動は継続されており、活動助成金を交付した。												
活動実績	組合加入のお知らせ配布数			組合加入のお知らせ配布数			組合加入のお知らせ配布数									
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	枚	200	286	枚	300	265	枚	350								
成果指標	コミュニティ活動参加世帯率（住民基本台帳上の組合世帯数÷全世帯数=参加世帯率）			コミュニティ活動参加世帯率（住民基本台帳上の組合世帯数÷全世帯数=参加世帯率）			コミュニティ活動参加世帯率（住民基本台帳上の組合世帯数÷全世帯数=参加世帯率）			コミュニティ活動参加世帯率（住民基本台帳上の組合世帯数÷全世帯数=参加世帯率）			コミュニティ活動参加世帯率（住民基本台帳上の組合世帯数÷全世帯数=参加世帯率）			
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	%	90	89	%	90	92	%	90		%	90		%	90		
Check (評価)	B	強制でない組合加入を促進する手段は限られているが、新規住民が必ず行う役場での転入手続時に行っている組合加入のお知らせ資料（所属行政区および組合長、組合活動の紹介を記載）の配布は有効な取り組みである。		C	R5年度途中から、来庁せず転入が可能となった。ただし、マイナンバーの書き換え等での来庁は必要であるため、機会を逃さず「組合加入のお知らせ」を配布し、促進していく。また、補助金対象の事業の見直しを行うことで必要な活動の精査も進めるべきである。											
Action (改善)	組合活動に対する補助金となっているが、活動内容に差が開き始めている。活発な活動を見せる組合とそうでない組合への支給バランスを考え直すべきではないか。			補助金対象の活動を精査し、共通認識を持てる働きかけが必要である。また、組合未加入に対する働きかけについては、全行政区が頭を悩ませている事象であることから、今後は区長会と対応を協議していく必要がある。												
事業費	予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算	
直接事業費（歳出）	4000	(千円)	3965	(千円)	4000	(千円)	3965	(千円)	4000	(千円)		(千円)	0	(千円)	0	(千円)
事業費財源	4000		3965		4000		3965		4000		0		0		0	
	特定															
	地方債															
	一般	4000	3965	4000	3965	4000	3965	4000								
人件費	315.92		268.88		188.55		250.6		279.52		0		0		0	
	人員数	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04								
	人件費単価	7,898	6,722	6,285	6,265	6,988	6,988	7,768								
事業費合計	4,316		4,234		4,189		4,216		4,280		0		0		0	
町民一人あたりの負担額	466.889	円	458.014	円	449.801	円	452.706	円	459.570	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
地域経営1-3-123	コミュニティ助成事業

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

No.1

自己評価	評価者	城戸 智美	5	大	←	→	小	1	↓	評点	判定
1. そもそも必要な事業か?											
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。											
評価理由 まちづくりの基礎となる地域コミュニティに対し、活動を助成することの妥当性は高い。											
2. 町が実施する必要があるか?											
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。											
評価理由 行政区及び組合との協働により町運営も成り立っており、伝統芸能の継承のためにも町が実施する必要性は高い。											
3. 実施内容は適切か?											
①有効性											
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。											
評価理由 住民相互の連帯感の醸成を図り、心のふれあう温かい地域社会の形成に資するため、生活環境美化推進事業、ふれあい、レクリエーションなどの活動を支援することの有効性は高い。											
②効率性											
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。											
評価理由 各組合において、助成目的に沿って活動されている。											
③公平性・透明性											
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。											
評価理由 予算の範囲内で各組合に配分している。活動内容の公平性をどう評価するか検討を要する。											

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

まちづくりの基礎となる地域コミュニティ活動に対し、行政区と協力して理解を深める啓発活動を推進していく。また、少子高齢化の進行の中で、防災や地域安全の面から考えても地区住民内での連携が必要不可欠であるため、町と連携して事業を継続していくことが重要である。また、住民の生活満足度を上げる要因の一つであると捉えており、今後も区長会と連携し、加入率向上に取り組んでいく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

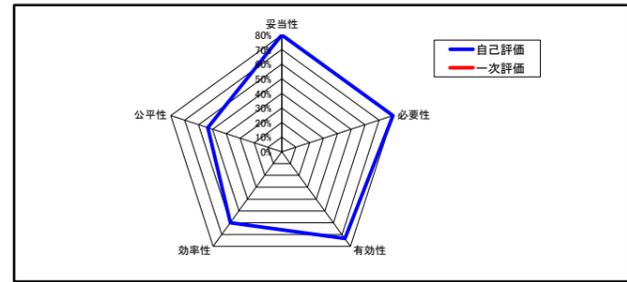
No.2

一次評価	評価者	城戸 智美	5	大	←	→	小	1	↓	評点	判定
1. そもそも必要な事業か?											
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。											
評価理由											
2. 町が実施する必要があるか?											
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。											
評価理由											
3. 実施内容は適切か?											
①有効性											
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。											
評価理由											
②効率性											
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。											
評価理由											
③公平性・透明性											
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。											
評価理由											

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.3

二次評価	評価者	久芳 浩二
<input type="checkbox"/> A以下の点について、良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。 []		
<input type="checkbox"/> B計画どおり、現状のまま事業を継続する。 []		
<input checked="" type="checkbox"/> C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するための計画の見直しを行う。 補助金対象の活動を精査するとともに、組合未加入に対する働きかけが必要である。地域のつながりを見直す時期にきていると思う。 []		
<input type="checkbox"/> D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。 []		
<input type="checkbox"/> E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。 []		
<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。 []		

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

一次評価をやり直し、
月 日
までに提出すること。
 評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

外部評価	
今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの C見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
評価 <h1>C</h1>	外部評価委員会の意見 昨今、コミュニティ活動の維持が危機に瀕していると感じていることから、本事業は、必要な事業であると言える。一方、行政のコミュニティに対する関わり方について、住民の主体性を保ちつつも、既存の仕組みを前提に柔軟な対応を検討する必要がある。 例えば、小さな負担でコミュニティに参加できる仕組みづくり(デジタル技術の導入や行政が依頼する業務の軽減など)やコミュニティ組織同士の交流による課題や解決策などの事例共有の場づくりなど小さなことから始める必要がある。今後は、行政がこの課題に対して、本気で向き合い、町民とともに考えることが強く求められる。
	経営者会議 経営者評価 今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了
評価 <h1>B</h1>	経営者会議の評価 本事業は、地域の自治意識を高め、コミュニティ活動の活性化を支援するため、活動の基礎となる組合活動を支援する上で必要な事業であり、一定の成果が出ているため継続して行っていく。しかし、地域の自主的な活動をさらに促進するためには課題も見られるため、今後の改善に向けた検討は必要である。 コミュニティの今後のあり方については、今回、指摘があった課題も含め、行政区長で構成されるコミュニティ活性化協議会において検討していく。 また、日常における人と人とのつながりづくりが重要であることから、第4次総合計画に基づき多様な人々や団体の交流機会を充実させていく。
令和7年度予算要求事項(今後の取り組み) 地域コミュニティの最小単位組織である小組合は、近年顕著する自然災害においても重要な役割を持ち、廃止できるものではない。しかしながら、現状では組合加入者が減少してきており、その存続が危ぶまれている地域もある。現行、本事業においては過去の慣例に基づき助成金を組合に提供しているが、その効果を大いに生かしている組合とそうでない組合が顕著化してきている。そのため、現行制度を見直し、新たなコミュニティ活性化を支援するための制度を検討する必要がある。 また、それと並行しコミュニティ活性化協議会で検討・提案された組合加入パンフレットの作成について令和7年度予算として計上し、加入促進を図りたい。	